

《図書館と自由》、また《図書館の自由》

図書館長 今田 浩之（一般教養）

《図書館と自由》。皆さんの知の「自由」空間として「図書館」を身近に感じたことはありますか。皆さんは新しく専門書を手にすることで自らの知を大きく変えることができます。小さな文庫の頁でさえ未知の時代や物語へと誘ってくれます。「図書館による自由」とは、読後の貴方がそれ以前の貴方から自由になる手助けのことでしょう。

今年度4月より、ノートパソコンの貸出がスタートしました。電子情報と図書資料とを融合させて、皆さんなりの独創的な学習を工夫してください。その自由な学びを、図書館は施設とサービスで支援いたします。

皆さんは、クラス別の学生希望図書を提案したり、図書館の投書箱で購入希望図書を申し込んだことはありますか。「図書館への自由」として、皆さんの誰もが図書の充実に自由に参加していただけます。

《図書館の自由》。新しい阿南高専図書館らしさに向け、「資料収集・提供の自由」を大切に、図書館は皆さんの図書館を目指しています。本校に関係する方々の、お一人でも多くが、一回でも多く来館されることを願っております。

教員推薦図書

各コース等の先生方に、お薦めの図書を紹介していただきました。ここで紹介している図書は、図書館に所蔵していますので、ぜひ手にとってみてください。

【一般教養】 城本 春佳

英語の感覚・日本語の感覚 “ことばの意味”のしくみ

池上嘉彦 著

「外へ出ると、月が明るく輝いていた。」という表現を英語に訳そうとすると、あなたはどんな英文を思い浮かべますか？英語の話し手によると、この情景を表す自然な表現は“When I went out, I saw the moon shining.”となるようです。よく「日本語は主語が省略される」などと言いますが、このような表現の違いは、事態を把握する主体としての「自己」から見た世界を描写する「主観的」な表現が、事態の中に存在する「自己」をも含めて「客観的」に描写する表現か、という違いに起因するものです。本書は、このような事態把握とその表現方法の言語による違いを、日本語と英語の豊富な例文を用いて鮮やかに描き出しています。単語や構文の正確さだけに拘るのではなく、世界をどう捉え、どう表現するか、といった視点を取り入れることで、日本語、英語それぞれの「好まれる言い回し」が見えてきて、英語学習ももっと楽しくなるはずです。

【電気コース】 砂原 米彦

電波とはなにか？後藤尚久教授の講義

後藤尚久 著

携帯電話等で身近になった目に見えない電波について書かれた本である。ほとんど数式がなく多くの図を用いて書かれてあり、気楽に読める。さらに、第1章の「見えない電波を見るために」では電気の基本であるオームの法則を乾電池と豆電球を導線でつないだ実験を用いて説明している。さらに、豆電球のつなぎ方と明るさから豆電球の直列、並列接続や電力についてわかりやすく説明している。また、第1章の後半では電気磁気のクーロン力や電気力線、磁力線などについて万有引力との関係を示してわかりやすく解説している。第3章の「電波で情報を送る」では振幅変調や周波数変調、パルス符号変調についてわかりやすく解説している。

本書は上記したように第1章だけでも気楽に読んで面白いし、電気関係の学生でなくとも第1章を読んで電気のことを身近に学べるのではないだろうか。

【建設コース】 池添 純子

インクルーシブデザイン 社会の課題を解決する参加型デザイン

ジュリア・カセム、平井康之、塩瀬隆之、森下静香 編

「ものづくり」とその「デザイン」は誰のためにするのでしょうか。わたしたちのため？あなたのため？家族？友達？不特定多数の人？これからの超高齢社会で求められるデザインとは…？本書は、これからの社会に求められる「インクルーシブデザイン（Inclusive Design）」という概念について紹介するものです。インクルーシブデザインとは、「デザインは人々が社会参加できる、つまりinclusion（包摂）するためのツールであって、社会参加できない、つまりexclusion（排除）されてはならない」という考え方で、高齢化問題に直面したイギリスが発祥の地です。ここでいう排除とは、単に身体的な側面だけでなく、感覚的排除、知覚的排除、デジタル化による排除、感情的排除、経済的排除など社会的な排除要素全般が含まれます。国内外の豊富な実践例とともに紹介される、社会の課題を解決するデザイン手法は、ものづくりに携わるすべての高専生必読です。

【機械コース】 松浦 史法

NEXT WORLD

未来を生きるためのハンドブック

NHKスペシャル「NEXT WORLD」制作班 編

80歳でも若さを保ち、ナノマシンにより病気は自動で治療され、失った四肢や臓器を人工培養された新品と取り替える。自動運転タクシーで移動し、エレベーターで宇宙へ出かける。いまから30年後の世界を、いまの技術の進歩を元に予測した番組「NEXT WORLD」。本書は「命と身体」「生活とフロンティア」「人工知能と未来予測」の三分野について、30年以内に実現可能とされる技術をまとめたものだ。本書が優れているのは、最前線の研究をしている研究者に直接取材をしている点である。それゆえ、ただの憶測ではなく、私たちの知る物理法則に基づいた確かな根拠を元に未来を予測している。30年後、いまの高専生が40代を終える頃、テクノロジーはどこまで到達し、何を変えるのか。ワクワクする未来を覗いてみませんか。

【情報コース】 太田 健吾

人工知能は人間を超えるか

松尾 豊 著

「シンギュラリティ」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。「2045年に人工知能が人間の知性を超える」という予測です。果たしてこの予測は正しいでしょうか？将棋では人工知能がプロの棋士に勝利しました。アメリカのクイズ番組でも、人間のチャンピオンに人工知能が圧勝しています。大学入試に特化した人工知能「東ロボくん」は全国模試で偏差値50を超えるようになり、今や平均的な受験生よりも人工知能の方が学力試験の点数は高いのです。このようなニュースを見ていると、先の予測もそれなりに正しいような気がしてきます。しかし、機械が人間の能力を凌駕したのは今に始まったことではありません。電卓よりも早く計算のできる人はいるのでしょうか。それで電卓が人間より賢いと言えるのでしょうか。ゲームやクイズで勝つことが本当の「賢さ」でしょうか。本書は東京大学で人工知能を研究する著者が、人工知能の限界と可能性について極めてわかりやすく著した珠玉の一冊です。

【化学コース】 鄭 涛

商品から学ぶ化学の基礎

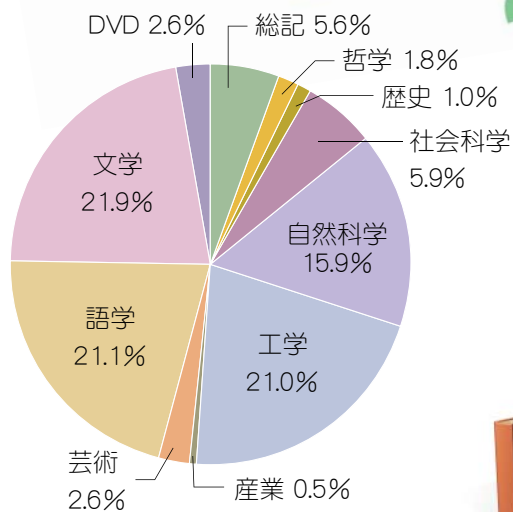
松田勝彦 著

商品のしくみに驚き・楽しみながら、化学の基礎を体系的に学べる化学入門書。表紙のデザインがシンプル（ちょっと時代遅れの感じ？）だが、中身は濃い（誰かに話したくなる雑学も満載）。各章とも「2商品＋1基礎事項」で構成し、生活と化学を結びつけることと、学問的基礎を身につけることを両立させた斬新な1冊。スーパーやドラッグストアなどで見かける身近な商品を取り扱っているので、化学の「役に立つ」という側面をリアルに知ることができきる。著者はトリビア的な話題もたくさん取り入れ、分野外の人にも化学の面白さを伝えようとしている。一般的な教科書では簡潔に表現されることの多い化学式や法則に、まるで色がついたように感じられると思う。化学教員の私も「知らなかった、そうだったのか」と思うことが記述されている（ちょっと恥ずかしい）。これから、身近な話題から化学に興味を持たせるためのネタ本として活用していこうと思う。

図書館利用統計

平成26年度 分類別貸出冊数

分 類	貸出冊数
総 記	391
哲 学	123
歴 史	71
社会科学	411
自然科学	1,112
工 学	1,468
産 業	35
芸 術	185
語 学	1,473
文 学	1,532
D V D	184
合 計	6,985



平成26年度 分類別貸出ランキング第 1 位

総記	回数	書 名	著 者 名
	10	かんたん合格基本情報技術者教科書 平成26年度	五十嵐順子
哲学	回数	書 名	著 者 名
	6	まんがでわかる7つの習慣	小山鹿梨子
歴史	回数	書 名	著 者 名
	5	ご冗談でしょう、ファインマンさん 上巻	R.P.ファインマン
社会科学	回数	書 名	著 者 名
	17	SPIリアル問題集 2014年度版	新星出版社編集部
自然科学	回数	書 名	著 者 名
	35	新編高専の数学 2 問題集	田代嘉宏

工学	回数	書 名	著 者 名
	30	工業英検 4 級クリア	日本工業英語協会
産業	回数	書 名	著 者 名
	4	地方都市圏の交通とまちづくり: 持続可能な社会をめざして	辻本勝久
芸術	回数	書 名	著 者 名
	8	けん玉の技123	日本けん玉協会
語学	回数	書 名	著 者 名
	107	TOEICテスト 新公式問題集 Vol. 5	Educational Testing Service
文学	回数	書 名	著 者 名
	12	終物語 中巻	西尾維新



開館時間

- 平 日 9時～19時 (休業期間中は、9時～17時)
- 土曜日 11時～17時 (休業期間中は、土曜日休館)
- 日曜日・祝日 休館
- ★ 図書館は保護者の方、一般の方もご利用になれます。
- ・貸出を希望される場合は、身分証明書(運転免許証など)をご持参ください。

貸出冊数 5冊まで (休業期間中は10冊)

貸出期間 14日間

館内資料の文献複写 (著作権法の範囲内での有料複写) や、DVD・ビデオコーナーもご利用になれます。

★詳しくは図書館までお問い合わせください。

TEL 0884-23-7106 **Email** tosho@anan-nct.ac.jp

★ホームページにて、蔵書検索や利用案内、図書館開館カレンダーなどご利用いただけます。 **URL** <http://www.anan-nct.ac.jp/library/>

投書箱

図書館では、学生のみならずのリクエストを受け付けています。

読みたい本や、学習や研究で使う本などがありましたら、図書館出入口の投書箱へ投函してください。

